

# 麦踏み、排水溝の整備、雑草防除を徹底しましょう!

## ●29年産麦の生育状況

麦の播種後、寒暖の差はありますが気温はほぼ平年並に推移しており、11月上中旬に播種した麦の生育は平年より若干遅れ気味ですが、順調な生育を示しています。

しかし、11月中旬以降、頻繁に降雨があり、播種できる日が少なく、播種作業は県南地域を中心に遅れ、その結果年内にやっと出芽したほ場も見受けられます。



## ●麦踏みをしっかり行ないましょう

3か月予報（気象庁12月21日発表）によると、気温は平年並～高く、降水量はほぼ平年並の予報です。

11月上中旬に播種できたほ場では、年明けて、凍結層がなくなってから（県中北部）、莖立期直前（幼穂長2cm）まで行なえます。播き遅れ等により生育が遅れているほ場では、3枚目の葉が出れば実施できます。

莖立期は平年で3月中下旬ですが、今後の気象状況によっては早まる可能性があります。莖立期までに2～3週間間隔であと2回行ないましょう。ただし圃場が湿っているときや、莖立ち後は麦を傷めるので行ないません。また、強すぎる麦踏みも避けましょう。

### 麦踏みの効果

- ① 土壌を鎮圧して、土の乾燥や、根の浮き上がり（凍上害）を防ぎます。
- ② 踏むことで茎葉が硬くなり、根が良く伸びて寒さに強くなります。
- ③ 幼穂分化を遅らせ、生育を揃え、分げつを増やし収量を増やします。
- ④ 過剰な茎葉の生長を抑制し、倒伏に強くなります。



## ●麦の湿害をなくすため、排水溝を整備しましょう

麦は湿害に弱い作物であり、特に大麦は弱いです。根が弱まり、生育抑制されるだけでなく、早めに枯れ上がり、細実になってしまったり、登熟が阻害されて収量・品質が低下します。加えて近年は季節はずれの大雨が降ることがあります。埋まった排水溝を補修し、設置していない圃場は排水溝を設け、雨を速やかに圃場外へ排出しましょう。圃場の周囲と、圃場内に5～10m間隔で排水溝を設けるのが理想です。また排水溝が圃場外の排水路と確実に連結しているか確認しましょう。



額縁明渠でしっかり排水



排水溝は圃場外の排水路と連結

## ●雑草がみえたら早めに防除しましょう

スズメノテッポウ、ヤエムグラなどの雑草は、麦の生育が悪いとかえって早く伸びてきます。また雑草は見た目は小さくても葉令は結構進んでいるものです。除草剤の適用葉令を超えると効果が劣ります。播種後に土壌処理剤を撒いても良く観察し、発生している場合は茎立期までに早めに防除しましょう。それぞれの剤の使用量を守り、十分な散布水量で雑草の葉が良く濡れるようにしましょう。

### 麦類の生育期処理除草剤の使用例

適用雑草	除草剤名	使用時期	適用雑草、葉令など
一年生広葉雑草、スズメノテッポウ	ハーモニー75 DF水和剤	播種後～節間伸長前	スズメノテッポウは5葉期まで
一年生広葉雑草	エコパートフロアブル	節間伸長開始期まで (但し収穫45日前まで)	広葉雑草2～4葉期 ヤエムグラ2～6節期(小麦)
一年生広葉雑草	アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	広葉雑草は発生揃～6葉期、 ヤエムグラは4節期まで、タネ ツケバナは2～3葉期まで
一年生雑草 (イネ科を除く)	バサグラン液剤	麦類の生育期 (但し小麦は収穫45日前まで、 大麦は収穫90日前まで)	雑草の3～6葉期